

「うちの社員って、なんで?…」が
くちグセになっていませんか?



簿記

3級



従業員の業務スキルや教育で こんな悩みありませんか?

- 与えられた仕事しかしない
- 専門用語を使うと話が通じない
- コスト感覚がない……などなど

競争が激化するビジネス環境のなか、従業員一人一人の資質向上は大きな経営課題。より経営者に近い視点で、自ら仕事を考え、遂行できる能力の育成が求められています。

日商簿記検定で スキルとヤル気をアップ!

簿記は経理事務に必要な会計知識だけでなく、財務諸表を読む力や、基礎的な経営管理や分析力が身につく技能。経理担当者にとどまらず、全ての従業員にとって有用なビジネススキルです。またコスト感覚が身につくなど経営の視点を養うことができるので、社員のヤル気も高まります。

今こそ日商簿記検定を従業員一人一人の資質向上に役立ててはみませんか?

フレッシュマンがビジネスマンに大変身。簿記3級で社員教育はじめませんか?

商工会議所の簿記検定って?

商工会議所が実施する検定試験の受験者数は実に年間80万人超。なかでも簿記検定は昭和29年から続く資格試験で、これまでの受験者数は2,300万人に上ります。試験は1~4級があり、多くの企業の採用基準や社員教育に活用され高い評価を得ています。

企業単位など、
団体でお申込みいただける場合は、
特典をご用意しておりますので
ご相談ください。



簿記検定を活用する企業が増えています

- 検定合格を昇進・昇格要件にしている
- 検定受験の費用を会社が補助
- 資格取得のための教材購入費を補助
- 社内で検定試験に向けた勉強会を実施 などなど

企業・受験者のメッセージ

一般社員からリーダーになる条件に簿記3級合格を必須としています。努力と能力に応じて評価されるので、従業員の士気も高まりましたね。

(外食企業：総務部長)

社内で行われる講習会で学び3級に合格。取得後は色々な会社の収益や自社の経営状態にも興味がわくようになり、仕事も楽しくなりましたね。

(総合商社：20代女性)